インディアナ日本語学校便り 第34号

令和６年 2月17日事務所 317－255－1631 メール ijls@indiana-j-school,net

(HP) http://www.indiana-j-school.net　　校 長　森 勝義

「児童生徒の作品集」

～学習成果発表～

校長　森　勝義

２月 14 日、「ハッピーバレンタインデー」を体験し、日本とはちょっと違った文化を経験しました。日本のバレンタインといえば、女性が男性にチョコレートやプレゼントを贈るイベント。 しかしアメリカのバレンタインは、男性が女性に対して贈り物をするイベントとして知られています。 アメリカのバレンタインは、男性から女性に対し、愛と感謝を伝えるイベントなのです。

オーチャード校でも様々なイベントがあり、先生方へもいろいろな種類のポップコーンが差し入れとして提供されていました。

さて、子どもたちの作品が集まりましたので、掲載します。

「サンクスギビングの過ごし方」　　４年１組　野中　準矢

ぼくたちは、毎年サンクスギビングは、バグリー家に行って過ごします。そこでおいしいごちそうを食べます。今年のメニューを紹介します。

ターキー（ダークミートとホワイトミート）、スタッフィング、レリッシュ、野菜のロースト、フューネラルポテト、パンです。デザートは、シフォンケーキ（バニラとココアの二種類）、梨のコンポート、ホイップクリーム、栗のクリーム、ピーカンパイ、クッキー、アップルパイ、フルーツ（イチゴとぶどう）、シュークリーム、おもちです。

このうちぼくが好きだったのは、ターキー（ホワイトミート）、レリッシュ、パンでした。デザートの中では、シフォンケーキとホイップクリームでした。ターキーは、やわらかくて食感が良かったです。レリッシュは、甘ずっぱくてターキーに合いました。パンは、ふわっとして空気をいっしょに食べている感じがしました。シフォンケーキは甘さがちょうどよかったです。ホイップクリームをかけるとしっとりしました。サンクスギビングディナーはいつも最高です。

「わたしのサンクスギビング」　　４年１組　小林　陽菜乃

今日のサンクスギビングに日本からおばあちゃんとおじいちゃんが遊びに来てくれました。無事にアメリカまで到着できたので、わたしは安心しました。おばあちゃんとおじいちゃんが来て一日目は、お昼にとうちゃくしたので、家の周りを散歩したり、ごはんを食べたりしました。

二日目は、インディアナポリスにあるソルジャーズ・アンド・セーラーズ・モニュメントに行きました。登っているさい中は、どんな景色が見えるのかドキドキしていました。その日はあいくにの雨でざんねんでしたが、高いところから見る景色はとてもきれいでした。

三日目は、わたしが学校だったので、帰りのおむかえにおばあちゃんとおじいちゃんが来てくれました。四日目もおむかえに来てくれたので、とてもうれしかったです。

五日目は、おばあちゃんとおじいちゃんが日本へ帰ってしまう日でした。帰ってしまうと考えたら悲しかったけど、たくさん遊んだ五日間とっても楽しかったです。次は日本で会えると思います。

「大切にしたい言葉」　　６年１組　吉原　結奏

私が選んだ座右の銘は、サッカープレイヤー、メッシが言った「報われるまで努力する」です。私がこの座右の銘を選んだ理由は、もっと自信を持てるようになりたいからです。このメッシの言葉は、努力が報われることを信じて、報われないかもしれないが努力し続けることが大切だ、という意味です。私は去年の春のシーズンからサッカーを始めました。最初のシーズンはチームメイトやコーチから基本的な技術を教わりました。私は自分なりに努力をしたつもりでしたが、ドリブリングやパスが上手にできないままそのシーズンが終わってしまいました。次のシーズンは近所の友達と同じチームになったこともあり、前回より一緒に放課後に練習することができ、結果的にはリーグ優勝することができました。その時は嬉しい気持ちだったけれど、もっと自分にできたこと、努力するべきことがある様に感じました。そして私は改めて、私にとって報われるとはどういうことなのか考えてみました。私にとって報われるとは、努力した結果で何かを成しとげられた時、努力が報われたと思えるように感じることです。このメッシの言葉は、サッカー以外にも勉強や他のどんなことにも共通して言えることだと思います。時にはコツコツと努力し練習し続けることはとても大変だと思います。だからこそ、自分自身と向き合い、メッシが残したこの言葉を信じてこれからも自分が本当に大切にしたいことと向き合いながら、努力できるようにがんばりたいです。

「大切にしたい言葉」　　６年１組　小嶋　夏希

僕が座右の銘にしたい言葉は、「一番大事なのは、コミュニケーションと思い切ってプレーすること」。これは、八村塁選手の言葉です。僕がこの言葉を選んだのは、僕がアメリカでバスケットボールを始めた時に、八村選手と同じことを考えたからです。八村選手はアメリカで、レイカーズというとても有名なチームで活やくしています。きっと初めは、言葉のかべがあり、チームメイトとコミュニケーションがうまくとれないときもあったと思います。バスケットボールは、大きな声を出したり、コミュニケーションが大事なスポーツです。僕も初めたばかりの時は、英語が苦手で大きな声を出せず、パスをもらう事が少なかったです。自信なさそうにしていると、さらにパスがもらえなくなりました。だんだん英語の勉強をしたり大きな声を出すようにしたら、前よりたくさんパスがもらえるようになりました。これからも八村選手の言葉を座右の銘にしたいです。

宮澤賢治「よだかの星」感想文
―いただく命に感謝してー

６年２組　青木　千夏

命の大切さってなんだろう。

自分の命。他人の命。みんなの命。

みんな一人ひとり命を持っている。どんなに小さな生き物でも。どんなに大きな生き物にも。

この物語に登場するよだかは、自己犠牲の精神、弱肉強食への不信感を抱いていた。いつも自分が羽虫やカブトムシを食べてしまうせいで、毎日毎日命が失われていく。でも今度はぼくがたかに殺される番だ。悲しい。むなしい。こんな思いを持ってよだかは、最後に自殺してしまったのだと思う。

私はいつも日本でご飯を食べる前に「いただきます」と言っていた。しかし、アメリカに来てからたまに「いただきます」と言わないことが増えてきた。ある日ふと思った。「いただきます」ってどういうことだろう？　その時出会ったのが、このお話だった。私はいつも何気なくご飯を食べている。しかしこのお話を読んで思った。食べているものは全て命のある生き物だったのだと。

私はステーキや唐揚げが大好きだ。食べるのは好きだけど自分で殺したくはない。私はとても自分勝手だなと思う。でもその役目を担ってくれる人がいる。だから私は何気なくご飯を食べることができるのだ。私はそのことに感謝した。

だがよだかは、生きている虫をそのまま飲み込まなければならない。喉でもがかれ、ぞっとした思いをしながら。でもそれをしなければ生きていけない。それが現実なのだ。自然の世界で生きている生き物はみんなそのようにして生きている。生きるために食べ、殺されることにビクビクしながら暮らしていく日々。よだかは他人の命を奪って、自分の命を守るという罪悪感を抱いていたのかもしれない。
この「よだかの星」は無差別に生き物を殺さないようにすることを呼びかけているのだと思う。
命の大切さってなんだろう？
命を大切にするにはどうすればいいだろう？
答えはまだ出ていないが、命に感謝して「いただきます」と言おう。

４年２組　一、二行詩（野菜・果物）

阿部陽色	いちご	いっぱいの目
石井碧芭	キャベツ	ボーリングの玉
ウェリング航	キウイ	飛ぶことができない鳥
織田登理	パイナップル	とげの森
川上凛生	おくら	「あれ、なんだろう」流れ星
金田悠聖	パプリカ	雨上がりのにじ
河本瑛真	ザクロ	赤いいくら
慶野璃音	くり	ちゃいろの山
鈴木陽茉里	きゅうり	はたけのサボテン
橘柚希	さくらんぼ	なかよしふたご
林由惟	きのこ	野菜のかさ
山下彩花	ドラゴンフルーツ	木に生えた火の玉
依田仁之祐	にんじん	ほそながいオレンジ
渡辺駿磨	とうもろこし	ぼくはひとりぼっちじゃない
		小さな友達まわりにいっぱい

３年２組「工夫した詩」

うごく虫

三年二組　前原　光甫

のびてちぢんで
のびてちぢんで
のびてちぢんで
進む虫
のびてるだけでも進まないし
ちぢんでるだけでも進まないし
のびてちぢんで
ああつかれた
だけどのびてちぢんで
のびてちぢんで
今日もぼくは前へ進む

せかいへいわ

三年二組　中田　絆

せかいじゅうのおともだち
かぞくもいっしょに
いつもえがおで
へいわなせかいを
いつまでも
わたしたちのみらい

かぞくだいすき

三年二組　上田　芽衣

カメラがすきなわたしパシャパシャ
がすきなお母さん
くるまがすきなお父さん
だいすきだよわたしの弟
いぬがすきなわたしと弟
すきやきすきなお父さん
きめつがすきなわたしの家族

かけ算

三年二組　安藤　陸央

×××××××××××××××××
×××××××××××××××××
×××××××××××××××××
×××××××××××××××××
×××××××××××××××××
バツじゃないよ　かけ算だよ

ねこ

三年二組　山本　麻陽

ニャンニャンニャン
ニャンニャニャニャン
ニャニャンニャニャン
ねこが鳴いて
ニャンニャンニャンニャン
あまえてる

おなべ

三年二組　赤木　碧海

しょうゆ
みそ
キムチ
あごだし
ぽんず
カレー
今日はなんのあじだろう

ヒゲ森の言葉の森・探検

とう　い　そくみょう

当意即妙

とっさの機転で、その場に対応すること。状況にかなう気の利いた言動。
「当意」は適切な対応を工夫する意。「即妙」はすぐによい知恵がひらめくこと。

偶然は準備のない者には微笑まない。

ルイ・パスツール

１８２２年～１８９５年　フランスの細菌学者

突然やってくるチャンスを逃がさないように、
練習や準備を怠ってはならない。